

武田信玄も重宝した「牛柵」がマラウイで活躍

簡易堰灌漑は「堰」と「水路」で構成されます。意外なことにその堰には日本の伝統技術が生かされています。

武田信玄はかつて、増水時に川を流れる水の勢いを緩和させるための構造物「聖牛」を使って、治水していました。聖牛の基礎部分は「牛柵」と呼ばれますが、これは、マラウイで普及した簡易堰灌漑に利用される堰の一形態に適用されています。